

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田急海老名駅東口開発施設	階数	地上11F、地下1F
建設地	海老名市中央1丁目2番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	161人
気候区分		年間使用時間	4,745時間/年
建物用途	物販店、工場、集合住宅、等	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2014年9月 竣工	評価の実施日	2013年2月7日
敷地面積	3,537㎡	作成者	株式会社大林組一級建築士事務所
建築面積	2,868㎡	確認日	2013年2月7日
延床面積	15,882㎡	確認者	株式会社大林組一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 建設: 77%
 運用: 77%
 修繕・更新・解体: 77%
 オフサイト: 77%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本物件は、海老名駅前の上層階が集合住宅となっている、物販店・飲食店が含まれた複合施設である。		0
Q1 室内環境 ・F の建材を採用し、室内の空気質に配慮する。	Q2 サービス性能 ・維持管理が容易な防汚性のある仕上材の採用や水切りによる雨だれ対策、メッキ塗装やSUS製品による防錆対策等維持管理に配慮した設計を行っている。 ・廃棄物保管所の確保、清掃用電源、洗い場の確保等、建物の維持管理機能の確保に配慮する。 ・耐用年数の長い配管材料を採用して建物の更新性に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内) ・本物件は人が多く行き交う場所にあり、緑地を設けたり視点場からの検証を行ってまちなみや景観に配慮する。 ・敷地境界いっぱい配置されており、限られた外構部分となるが、緑地を多く設けて室外環境に配慮する。
LR1 エネルギー ・潜熱回収型の給湯器を採用して、省エネルギーに配慮する。 ・高効率な照明器具を採用して、省エネルギーに配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を採用し水資源保護に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・物販店や飲食店が入る複合施設であるため、適切な量の駐車スペースや駐輪スペースを確保している。 ・屋外照明について、適切な量の照明計画を行って敷地外に害を及ぼさないように配慮する。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 'ライフサイクルCO₂'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される